

第 34 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2016 年 4 月 12 日(火) 10:00~12:00
場 所：竹駒地区コミュニティセンター 第一会議室
出席者：21 団体 34 名（オブザーバー3 団体 5 名含む）
進行/文責：酒井（事務局）

1. 事務局連絡（10:00~10:10）

- 平成 28 年度プラットフォーム（以下、「PF」）運営体制および事務局について（資料 1）
今年度大きく 4 つの事業を予定。その中で会議開催事業について資料で図解。
運営委員会：PF の親会。登録団体の中で地元の団体を中心に構成。
支援連絡調整会議：会議の主役は参加する皆さん。積極的にグループ議論で話したい事を出して議論を進めて頂きたい。
事務局：まちづくり協働センターも登録団体の一つとして事務局を担う。PF 独自予算はなく、事業実施にかかる費用はセンターが負担。支援連絡調整会議運営のマンパワーもこれまで同様には避けない状況があるので、皆さんの協力をお願いしたい。
- これからのまちのビジョンとヒヤリング結果の公開
昨年度この会議でも皆さんと検討した「陸前高田市まちづくり PF の考える、陸前高田のこれからのまちのビジョン」と、市内団体に行ったヒヤリング結果を、3 月末ポータルサイトにて公開した。ぜひご覧いただきたい。
- 団体紹介票の更新について（資料 2）
新年度開始にあたり、登録時に提出いただいた団体紹介票の更新を行います。13 日より個別にメールで依頼するので 4 月 30 日までに対応をお願いしたい。
活動紹介団体 PR 文：更新後に会議で配布する「登録団体連絡先一覧表」に反映。
現在の活動内容・これまでの活動内容：ポータルサイト「高田のなかま」に反映。
一覧表及びポータルサイトへの掲載チェック欄：必ずチェックして下さい。どちらか一方のみ承認の場合にも対応するのでお知らせ下さい。
確認事項：電話帳の更新は未定だが、更新する際に掲載の希望があるか確認したい。

2. 活動報告（全体）（10:10~10:50）

- ・各団体より新年度体制、活動報告、協力依頼およびイベント告知など
- ・質問あれば適宜。各団体 2 分程度で報告。

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 34 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載。

◆活動報告

1	高田大隅つどいの丘 商店街／山本	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も協働センターが商店街の事務局を務め、担当継続。 4/16（土）：東京町田市の商店街の方々との交流会（震災後から支援を頂き繋がっている）。 6/5（日）：商店街4周年記念イベント。きらりんきっず企画で防災に関する緊急対応講座を予定。告知に協力頂ける方は連絡下さい。詳細は改めて共有。
2～4	陸前高田市復興支援 連絡会／志賀	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住民&自治会サポート（お茶会月平均30回開催、仮設住宅見回り）の他、中間支援（イベント開催や物資配布）を行う。3月末の仮設住宅住民数は1,258世帯、3月お茶会30回実施（参加179名）、3月の見回り312回。 ・今年度は仮設に限らず災害公営住宅でもお茶会実施予定。 4/14（木）：柳沢前災害公営住宅でのお茶会。 4/22（金）：一中仮設でイブリー・ギトリスさんのバイオリンコンサート。 4/22（金）：小友コミセンで健康づくり教室（NPOフォーラム21）。昨年度好評のため今年度も4回実施予定。
5	岩手大学 三陸復興・地域創生推 進機構／佐々木	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸復興・地域創生推進機構に名称変更。心のケア班は組織変更ないが、他の班（コミュニティ支援班など）では5年の区切りで人員減少もある。 ・心のケア班の活動はカウンセリング、EMDR（トラウマ介入の心理療法）、研修（支援者・一般市民対象共に）を行う。要望があればお知らせ下さい。今年度は、高田東中元校舎で岩手大学と他大学協働の交流センター事業も始まる。
6～7	大船渡地域復興セン ター／高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者が変更。 ・被災者支援センターのH27年度相談対応件数は、支援員対応が1,105件（26年度より172件減）。内容は恒久的な住まいへの移行が進む中で公的支援制度や住宅建築に関わる相談が全体の7割を占める。専門家相談は101件（26年度より33件減）。今年度も相談員と専門家の無料相談を行う。
8～9	陸前高田まちづくり 協働センター／三浦	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりや市民活動を行う団体の活動をサポートしている。日曜祝日以外は窓口空いているのでいつでもご相談下さい。住民や団体のワークショップや会議へのファシリテーター派遣も行う。話し合いが上手く進まないなどのお悩みあればぜひ。また、今年度もまちづくりPFの事務局継続。
10～	NEC ネットズエスアイ／	<ul style="list-style-type: none"> ・コワーキングスペースの場の提供を継続。企業家やまちづ

12	池田	<p>くりの動きに合わせて情報やネットワーク技術を使って何かできないかを一緒に考えていきたい。IT・ネットワーク等で何かあればお声掛け下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社の新人ボランティア研修を今年も沿岸部で実施（5回目）。3日目に陸前高田で事業者からの講話、市内見学とワークショップなどを行った。
13～15	マルゴト陸前高田／伊藤	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に観光物産協会から独立して一般社団法人化。プロデューサー大久保さん、研修等コーディネーター横澤さんが新たに加わり9名体制。 ・今年度も企業研修、修学旅行の誘致と受入れコーディネートを行う。6月には最初の修学旅行100名（民泊）を受入れ、今年は全部で約800名が修学旅行等で来高する予定。
16	りくカフェ／齊藤	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートクラブ事業、コミュニティカフェを継続。スマートクラブは5月からスタートするのでぜひご参加下さい。 4/16（土）：カフェにて「気仙茶の会」。 4/23（土）：カフェにて「高田の昔語りの会」（高田の昔を知る80代90代の方々からの話を聞く会）。
17	岩手県復興局／山崎	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から復興局に赴任。 ・今年度から国の被災者支援交付金が拡充され、県では新規事業として「内陸避難者支援センター（仮称）」を始める予定。運営はNPO法人インクルいわてが受託し、内陸避難者の意向把握、相談支援、関係市町村および関係機関との調整を行っていく。詳細は受託先と詰める。 ・暮らしの安心ガイドブックを今年度も更新予定。追加内容などご意見あれば頂きたい。支援者向けの研修会も継続するので、要望などあればお知らせ下さい。
18	ジャパン・プラットフォーム／高久	<ul style="list-style-type: none"> ・元々は海外へ人道支援を行う団体で、東日本大震災震災以降、「共に生きるファンド」で岩手、宮城、福島地域団体やNPO法人の復興支援活動に関する事業への資金助成を行う。2016年度も規模縮小したが岩手、宮城で2回実施。次回は5月2日～11日に申請受付。詳細は担当かHPまで。
19	パクト／衆久保	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども支援事業は、1名スタッフが減員したが内容は変更なし。復興サポートステーション事業は、緊急雇用創出事業の予算で3か年度運営してきたが、今年度から違う仕組みで運営。二又復興交流センターは、第一期の市の委託事業（3年間）を終了し、引き続き協定を締結して運営している。

20	いわて連携復興センター／葛尾	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県域の中間支援団体として、行政、NPO や企業との連携促進、情報発信、被災地で活動する団体へのサポート等を行う。 ・ 釜石以北地域担当のスタッフが1名増員。また、インターンを4/23～5/16 募集中、いい方がいたら紹介をお願いします。 ・ 現在、復興ロードマップ事業を実施中（復興庁とは別）。市民が作る復興ロードマップの基本的な考え方として、パブリックコメントを4/17まで募集中。詳細はHPに掲載。
21	いわて生活協同組合／池田	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報誌 HELLO コープ配布。4～7 頁で5年間の取組を紹介しているのでご覧下さい。 ・ 今年から3年間の新中期計画で3本柱（買物支援：移動販売にこちゃん号や個人宅配の送料無料、沿岸地域の商品取扱・販売、コミュニティづくり：ふれあいサロン）を継続する。新規に沿岸部団体への助成事業を検討中。その他、わたあめ/ポップコーン/かき氷の機械の無料貸出可能。通常ルートに乗らない小規模（仮設住宅）商品や野外活動ボランティアも担当しているので、困り事等あればお声掛け下さい。また、岩手沿岸部への復興応援ツアー（旅行部門）や全国生協に向けて人を呼ぶ取組みも行っている。
22～ 23	陸前高田市生涯学習課／平松	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民講座や市民芸術祭など生きがいづくりにつながる事業を行う。今年度たかた子どもキャンパスを担当。 ・ 「子どもたちの生きる力育成事業」を今年度も募集しているのでご活用下さい。 ・ 市民講座支援事業として、これまで特定の内容・場所で開催していた市民講座を、今年度は新しい形を試みる（皆さんが日時、場所、回数設定し講座を運営する。会場で地区公民館を使用する場合には使用料免除）。講師は人材バンク登録者から。昨年度までの高齢者人材バンクではなく、年齢枠を外して誰でも登録可能。地域の皆さんが技特技を活かして、一緒に学べるものにしたい。また、中高ボランティア事業（夏休みのボランティア活動）の受入れ先の募集も今後行うので、今年度も皆さんと連携できる部分はしていきたい。
24～ 25	もっちいと森の仲間たち／望月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花巻から毎週2日通っている。3月は県内の鍼灸師の方々のボランティア希望があり下和野に案内。また、高田高校ボランティアサークルの顧問の先生を2G有志と訪問。 ・ 土いじり（畑、花壇など）が得意で、花巻では子どもとの活動（冒険キャンプなど）を行っているので、今後も市内団

		体や生涯学習課などと連携していきたい。
26 ~ 27	遠野山・里・暮らしネットワーク／佐藤	・ほっとひといき事業は3月で一端終了したが、5月以降も継続予定。その他、大学のボランティア受入れ（東洋大学は昨年度終了、法政大学が今年も夏に来る予定）、教育旅行受入れ、ボランティア活動（3月は広田の公営住宅への引越しサポート3回）、災害公営住宅のコミュニティづくり（中田住宅で1月と4月に実施）。4月の交流会はカップのり巻き作りで50人程集まり非常に盛り上がった。今後は料理づくりを行う予定。
28	教育支援チーム「まつ」／佐々木	・市内の退職した教職員による市民団体。被災小中学校の支援、子どもたちの長期的な見守り活動、先生方の居場所づくり、不登校のためのフリースペース運営を行う。会員は30名、5人スタッフがいるが実質動けるのは1名。5月の総会で今年度の活動詳細が決まる予定。
29	夢ネット大船渡／河野	・大船渡を拠点にしているNPOだが、陸前高田では災害公営住宅で手芸教室等を行っている。 4/16（土）：三鉄 駅からウォーク（唐丹駅周辺を歩く）。
	陸前高田市議会議員 ／中野	・2月に市議とNPOの交流会に参加したが、詳しい活動までわからないので個別訪問を行ってきた。協働センターより会議の案内を頂き本日参加した。
	陸前たがだ八起プロジェクト／蒲生	・発災一避難所運営一モビリア仮設住宅支援一地域支援とフェーズが変わってきたが、現在はコミュニティのエンパワーメント事業に注力。モビリア仮設住宅から小友地域を中心に住民同士が交わるよう動いている。仮設住宅、災害公営住宅、自力再建、集団移転、元々の地域の方々の間のコミュニティが上手くいっていないという課題を少しでも和らげて早く復興を進めたい。 ・今年度は畑事業、モビリアクラブ（健康体操からマラソンやグランドゴルフなど）、男の料理教室（毎月）を行い、今年から伊藤忠カップ（野球）の開催を引継ぐ。
	陸前高田市地域福祉課／高橋	・民生部の改変により4月から新設。まだ引継ぎが終わっていない部分もあるが、これから何をすべきが考えていきたい。市に要望ありましたら担当課がわからない場合はこちらに来ていただければ考えていきたい。

3. 活動分野毎の討議・意見交換（グループ議論）

<1G 地域・コミュニティ>

➤ 意見交換

・活動報告の補足

りくカフェから「スマートクラブを災害公営住宅に出張する予定なので、公営住宅でのイベント開催についてノウハウを知りたい」との投げかけ。遠野山・里・暮らしネットワークが交流会を行っている中田、連絡会が今年度からお茶会を行う西下など、すでに団体の活動が入っているところは自治会との繋がりもあるので、受入れ先の負担も考慮して、上手く連携していきたい。併せて市内の災害公営住宅の状況も共有。

※市建設の災害公営住宅は「市営住宅〇〇団地」が正式名称となることを確認。

・お茶会などに参加しない方へのアプローチ

他市町村の民間企業と連携した見守り体制なども共有。

<2G 子ども・教育／女性・子育て>

➤ 意見交換

・3月に2G有志で行った高田高校ボランティア部訪問の共有

活動状況や規模、どのような活動をやりたいかを伺った。これから新年度の活動計画を立てる前に改めて顧問の先生に連絡を取る。子どもたちのやりたい活動にサポートが必要となった時に連絡をもらえる関係が作れると良い。

・以前訪問した団体の再度訪問検討

新年度の挨拶回りも兼ねて、以前訪問した4施設（きらりん・あゆっこ・にこにこ・ふれあい教室）を訪問し団体の動き（体制変更等）やニーズを聞きに行きたい。

<3G 商工・観光・産業・その他>

➤ 意見交換

・3Gの目的について検討

陸前高田市が目標としている商工・観光・産業の分野で、この会議の3Gの皆さんでどのような関わり/サポートができるのかを話しあっていたらいい。キーワードとして「感動」。高田に来た方が感動できるサポートをすれば、この分野のサポートになるのではないかな？

→今後そのアイデア出しをしていきたい。実際に一次産業や商売を行う方にもはまってもらい、現場の生の声を聞きながら各団体でどんなサポートができるかを話し合いながら、一つ一つ実践するところまでつなげていきたい。

4. その他

- ・「支援者のためのサポートガイド」配布について（岩手大学/佐々木）
慶応義塾大学の矢永先生が作成、佐々木先生も数ページ執筆しているのでご覧下さい。
- ・陶芸教室「遊炉」のテレビ番組出演について（復興支援連絡会/佐藤）
4/17（日）21:54～めんこいテレビで活動が放映されるのでご覧下さい。

【次回の開催日程】

- ・ 第 35 回 支援連絡調整会議
5 月 17 日（火）10：00～12：00 ※会場及び詳細は別途連絡